

# 2024年3月期 決算補足資料

自然と、あなたと、ともに未来へ。



2024年5月8日

## 注意事項

---

本資料は、株式会社レノバ(以下「弊社」といいます。)及び弊社グループの企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、弊社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、弊社はその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではなく、また、弊社はその内容を更新する義務を負うものでもありません。

また、本資料に記載される弊社グループの計画、見通し、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における弊社の判断又は考えにすぎず、実際の弊社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外のエネルギー政策、法令、制度、市場等の動向、弊社グループの事業に必要な許認可の状況、土地や発電設備等の取得・開発の成否、天候、気候、自然環境等の変動等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

本資料の記載金額は、原則、連結数値を使用、百万円未満は四捨五入としているため、各欄の合計値と合致しない場合があります。

本資料に関するお問い合わせ先  
株式会社レノバ IR室  
電話 : 03-3516-6263  
メール: [ir@renovainc.com](mailto:ir@renovainc.com)  
IRサイト: <https://www.renovainc.com/ir>

## I. 2024年3月期決算(IFRS)

## 2024年3月期連結決算(IFRS)及び直近のハイライト

---

1

2024年4月、長期脱炭素オークションにおいて、  
複数の蓄電池事業(計215MW)が選定

2

2024年3月、石巻ひばり野バイオマス発電所の  
営業運転開始

3

2024年4月、  
東京瓦斯株式会社と資本業務提携契約を締結

4

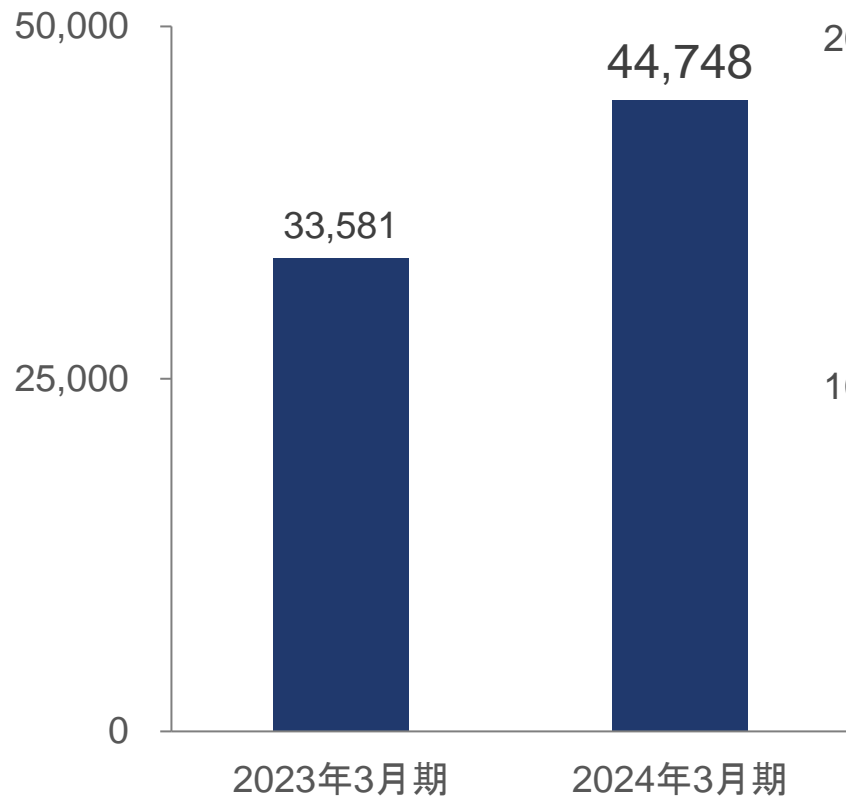
一部のバイオマス発電所において  
PPAによる売電開始が間近

# 連結売上収益及び連結EBITDA<sup>\*1</sup>の推移(IFRS)

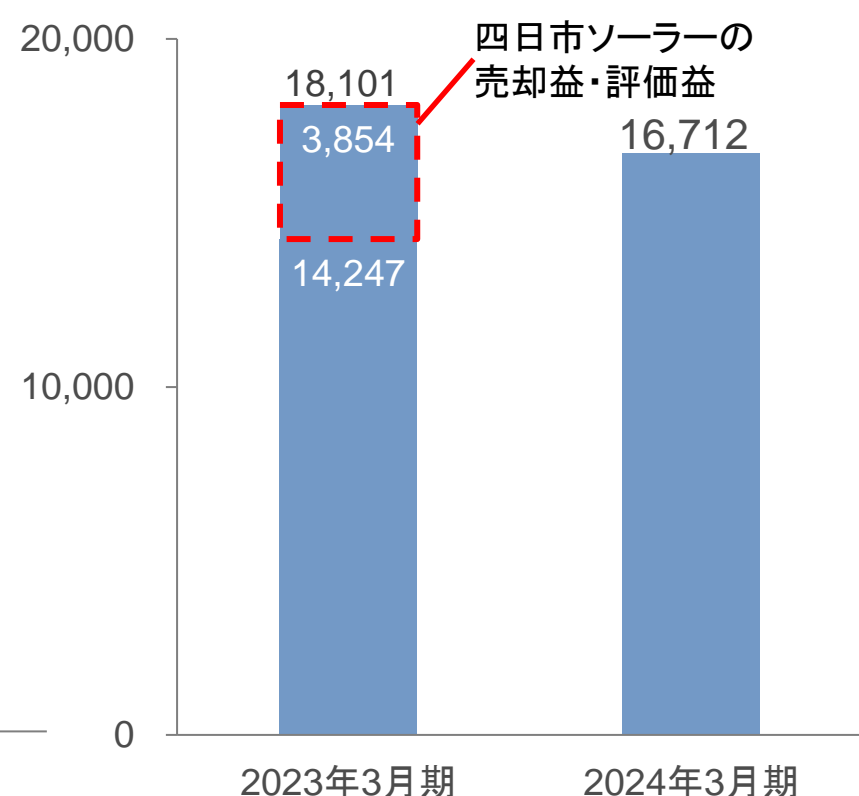
(単位: 百万円)

- 売上収益は、徳島津田バイオマス、仙台蒲生バイオマス、及び人吉ソーラーの運転開始により、前年対比で増加
- EBITDAは、売上収益の増加により、前年に計上した一過性利益(四日市ソーラーの一部持分の売却益・評価益)を除いて、増益

### 連結売上収益(実績)



### 連結EBITDA<sup>\*1</sup>(実績)



\*1 EBITDA=売上収益-燃料費-外注費-人件費+持分法による投資損益+その他の収益・費用、EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外

# 連結業績ハイライト(IFRS)

(単位: 百万円)

- 売上収益の増加により、前年に計上した一過性利益(約38億円)を除いて、EBITDA以下の各段階利益も前年対比で増益
- 仙台蒲生バイオマス及び石巻ひばり野バイオマスの連結化に伴い、「企業結合に伴う再測定による利益」を計上

	2023年3月期	2024年3月期	2024年3月期 (修正予想)	前期比
売上収益	33,581	44,748	44,000	33.3%
EBITDA*1	18,101	16,712	16,300	▲7.7%
EBITDA マージン	53.9%	37.3%	37.0%	-
営業利益	8,870	5,017	4,500	▲43.4%
親会社の所有者に 帰属する利益	2,678	8,857	8,500	230.8%
EPS(円)*2	34.07	112.32	107.84	-
ROE*3	7.2%	16.0%	22.7%	-
設備容量(MW)*4	573.5	852.3	852.3	-

\*1 EBITDA=売上収益-燃料費-外注費-人件費+持分法による投資損益+その他の収益・費用、EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外 \*2 EPSは潜在株式調整を考慮しない数値 \*3 ROE における親会社の所有者に帰属する持分は、12ヶ月間の期首・期末の単純平均値を使用 \*4 設備容量は弊社持分比率を考慮しないグロス値で表示

# セグメント別連結業績(IFRS)

(単位: 百万円)

- 再生可能エネルギー発電事業の売上収益は、徳島津田バイオマス、仙台蒲生バイオマス、及び人吉ソーラーの運転開始により前年対比で増加。バイオマス発電所の完工遅延損害賠償金の計上等が影響し、EBITDA以下の段階利益も増加
- 再生可能エネルギー開発・運営事業の利益は、前年に計上した一過性利益(約38億円)の影響により減少。また、キアングン水力事業の持分法による投資損失(約12億円)を計上

		2023年3月期	2024年3月期	増減	
再生可能エネルギー 発電事業	(A)	売上収益	32,072	44,331	12,260
		EBITDA <sup>*2</sup>	17,714	22,228	4,514
		営業利益	8,651	10,663	2,013
再生可能エネルギー 開発・運営事業	(B) <sup>*1</sup>	売上収益	4,143	2,994	▲1,148
		EBITDA <sup>*2</sup>	2,849	▲3,472	▲6,322
		営業利益	2,428	▲3,888	▲6,316
連結消去	(C)	売上収益	▲2,634	▲2,578	56
		EBITDA <sup>*2</sup>	▲2,462	▲2,044	418
		営業利益	▲2,209	▲1,758	450
合計	(A) + (B) <sup>*1</sup> + (C)	売上収益	33,581	44,748	11,167
		EBITDA <sup>*2</sup>	18,101	16,712	▲1,389
		営業利益	8,870	5,017	▲3,852

\*1 子会社や関連会社に対する弊社の持分に相当する事業開発報酬等については、連結決算上は連結グループ内取引として連結消去

\*2 EBITDA = 売上収益 - 燃料費 - 外注費 - 人件費 + 持分法による投資損失 + その他の収益・費用、EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外

# 再生可能エネルギー発電事業セグメント(IFRS)

(単位: 百万円)

- 大規模太陽光発電事業は、人吉ソーラーの運転開始により前年対比で増加
- バイオマス発電事業は、仙台蒲生バイオマス、徳島津田バイオマスの運転開始により増加。また、バイオマス発電所の完工遅延損害賠償金の計上等が影響し、EBITDA以下の段階利益も増加

		2023年3月期	2024年3月期	増減
大規模太陽光	売上収益	13,313	14,219	907
	EBITDA*1	10,988	11,750	763
	営業利益	5,117	5,533	415
バイオマス	売上収益	18,758	30,049	11,291
	EBITDA*1	6,456	10,441	3,984
	営業利益	3,263	5,116	1,853
その他	売上収益	1	63	62
	EBITDA*1	270	38	▲232
	営業利益	270	14	▲256
合計	売上収益	32,072	44,331	12,260
	EBITDA*1	17,714	22,228	4,514
	営業利益	8,651	10,663	2,013

\*1 EBITDA=売上収益-燃料費-外注費-人件費+持分法による投資損益+その他の収益・費用、EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外



# 連結資本構成 (IFRS)

(単位: 百万円)

- 仙台蒲生バイオマス及び石巻ひばり野バイオマスの連結化により、資産は増加。
- 当期利益の計上、バイオマス燃料調達に係る長期為替予約の公正価値変動等により資本比率は上昇

		2023年3月期 期末	2024年3月期 期末	増減	主な増減要因
主要BS項目	資産合計	303,377	465,399	162,022	仙台蒲生バイオマス及び石巻ひばり野バイオマスの連結
	親会社の所有者に帰属する持分合計	42,954	68,005	25,052	当期利益の計上、バイオマス事業の燃料調達に係る長期為替予約の公正価値変動
	純有利子負債 <sup>*1</sup>	157,240	240,374	83,134	仙台蒲生バイオマス及び石巻ひばり野バイオマスの連結
	現預金 <sup>*2</sup>	49,632	66,492	16,860	
	有利子負債 <sup>*3</sup>	206,872	306,866	99,993	
親会社所有者持分比率		14.2%	14.6%	0.4%	
資本比率		21.3%	22.7%	1.4%	
財務健全性指標	Net D / Eレシオ <sup>*4</sup>	2.4x	2.3X	▲0.1X	
	Net Debt / EBITDA <sup>*5</sup>	8.7x	14.4X	5.7X	前期末は、一過性利益の影響によりEBITDAが増加し、Net Debt / EBITDA倍率は低下
	調整後Net Debt / EBITDA <sup>*6</sup>	6.8x	10.9X	4.1X	

\*1 純有利子負債＝有利子負債－現預金 \*2 現預金＝現金及び現金同等物＋引出制限付預金 \*3 有利子負債＝借入金＋社債＋リース負債＋金融負債

\*4 Net D/Eレシオ＝純有利子負債 / 資本 \*5 EBITDAは、2023年3月期 18,101百万円、2024年3月期16,712百万円

\*6 運転期間が1年未満の発電事業SPCのNet Debt及びEBITDAを除いた数値にて算出

# 連結財政状態計算書(IFRS)

(単位: 百万円)

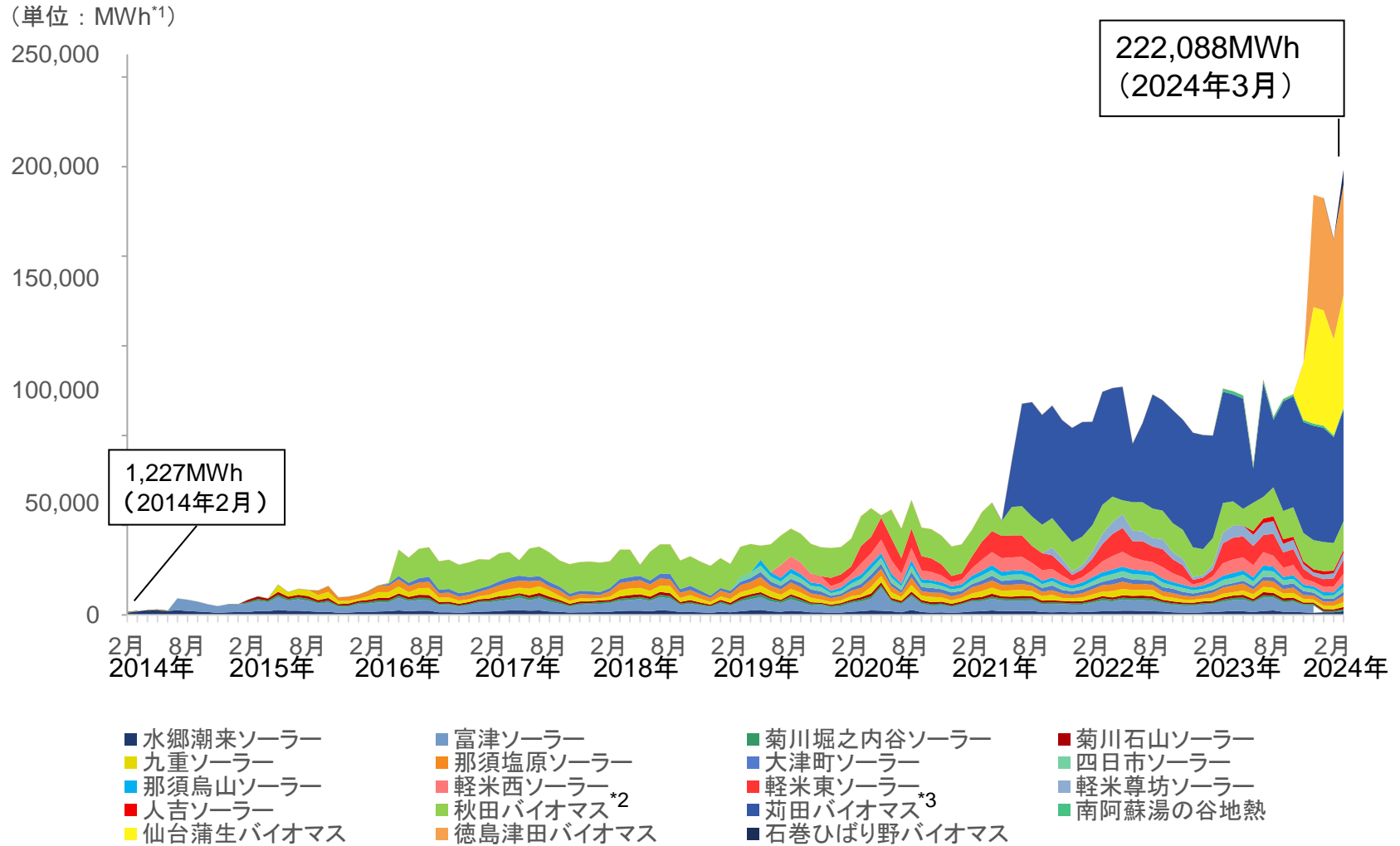
	2023年3月期 期末	2024年3月期 期末	増減	主な増減要因
流動資産	66,491	91,114	24,624	
非流動資産	236,887	374,285	137,398	
有形固定資産	144,458	220,332	75,874	バイオマス(仙台蒲生、石巻ひばり野)の連結
無形資産	36,215	34,547	▲1,668	
その他の金融資産	23,906	80,734	56,828	バイオマス燃料調達に係る長期為替予約の公正価値変動
持分法で会計処理されている投資	17,042	21,731	4,689	バイオマス燃料調達に係る長期為替予約の公正価値変動
<b>資産合計</b>	<b>303,377</b>	<b>465,399</b>	<b>162,022</b>	
有利子負債*1	206,872	306,866	99,993	バイオマス(仙台蒲生、石巻ひばり野)の連結
その他負債	31,773	52,836	21,063	
<b>負債合計</b>	<b>238,646</b>	<b>359,701</b>	<b>121,055</b>	
利益剰余金	24,981	33,838	8,857	当期利益による増加
その他の資本の構成要素	14,692	30,862	16,171	バイオマス燃料調達に係る長期為替予約の公正価値変動、金利スワップの公正価値変動
親会社の所有者に帰属する持分合計	42,954	68,005	25,052	
非支配持分	21,778	37,693	15,915	バイオマス(仙台蒲生、石巻ひばり野)の連結
<b>資本合計</b>	<b>64,731</b>	<b>105,698</b>	<b>40,966</b>	

\*1 有利子負債 = 借入金 + 社債 + リース負債 + 金融負債

# レノバの運営する国内の発電所における売電量の月次推移

## 2024年3月時点

■ 各発電所とも、概ね安定した稼働が続く



\*1 発電量をあらわす単位 (1MWh=1,000kWh)

\*2 秋田バイオマスは、4月から5月にかけて定期点検を実施

\*3 苧田バイオマスは、6月から7月にかけて定期点検を実施

## (ご参考) 運転中の連結子会社(発電事業SPC)の単体決算の状況 (IFRS/単位: 百万円)

	設備容量 (MW)	買取価格 (/kWh)		売上収益	EBITDA	EBITDA	当期利益	弊社
					マージン	持分比率		
水郷潮来ソーラー <sup>*1</sup>	15.3	40円	2024年3月期	697	493	70.8%	146	68.0%
			2023年3月期	707	591	83.7%	211	68.0%
富津ソーラー <sup>*1</sup>	40.4	40円	2024年3月期	2,102	1,847	87.8%	771	51.0%
			2023年3月期	1,927	1,689	87.6%	647	51.0%
菊川石山ソーラー <sup>*1</sup>	9.4	40円	2024年3月期	477	404	84.7%	138	63.0%
			2023年3月期	454	393	86.4%	126	63.0%
菊川堀之内谷 ソーラー <sup>*1</sup>	7.5	40円	2024年3月期	376	313	83.3%	102	61.0%
			2023年3月期	359	302	84.0%	91	61.0%
九重ソーラー <sup>*2 *3</sup>	25.4	40円	2024年3月期	957	771	80.6%	205	100.0%
			2023年3月期	961	776	80.7%	197	100.0%
那須塩原ソーラー <sup>*2 *3</sup>	26.2	40円	2024年3月期	1,129	963	85.3%	430	100.0%
			2023年3月期	1,113	869	78.1%	326	100.0%

\*1 株式会社 \*2 匿名組合事業

\*3 匿名組合事業に関してその課税所得は、出資割合に応じて匿名組合出資者に帰属するため、匿名組合事業としての税金費用は発生しない

## (ご参考) 運転中の連結子会社(発電事業SPC)の単体決算の状況 (IFRS/単位: 百万円)

	設備容量 (MW)	買取価格 (/kWh)		売上収益	EBITDA	EBITDA	当期利益	弊社
					マージン	持分比率		
大津町ソーラー <sup>*1 *2</sup>	19.0	36円	2024年3月期	706	533	75.5%	106	100.0%
			2023年3月期	754	544	72.1%	109	100.0%
那須烏山ソーラー <sup>*1 *2</sup>	19.2	36円	2024年3月期	763	591	77.4%	176	100.0%
			2023年3月期	761	561	73.8%	142	100.0%
軽米西ソーラー <sup>*1 *2</sup>	48.0	36円	2024年3月期	1,826	1,511	82.7%	312	100.0%
			2023年3月期	1,812	1,503	82.9%	291	100.0%
軽米東ソーラー <sup>*1 *2</sup>	80.8	36円	2024年3月期	2,882	2,419	84.0%	648	100.0%
			2023年3月期	2,857	2,386	83.5%	598	100.0%
軽米尊坊ソーラー <sup>*1 *2</sup>	40.8	36円	2024年3月期	1,638	1,384	84.5%	280	55.0%
			2023年3月期	1,608	1,374	85.5%	264	55.0%
人吉ソーラー <sup>*1 *2</sup>	20.8	36円	2024年3月期	666	522	78.3%	108	100.0%
			2023年3月期	-	-	-	-	38.0%

\*1 匿名組合事業 \*2 匿名組合事業に関してその課税所得は、出資割合に応じて匿名組合出資者に帰属するため、匿名組合事業としての税金費用は発生しない

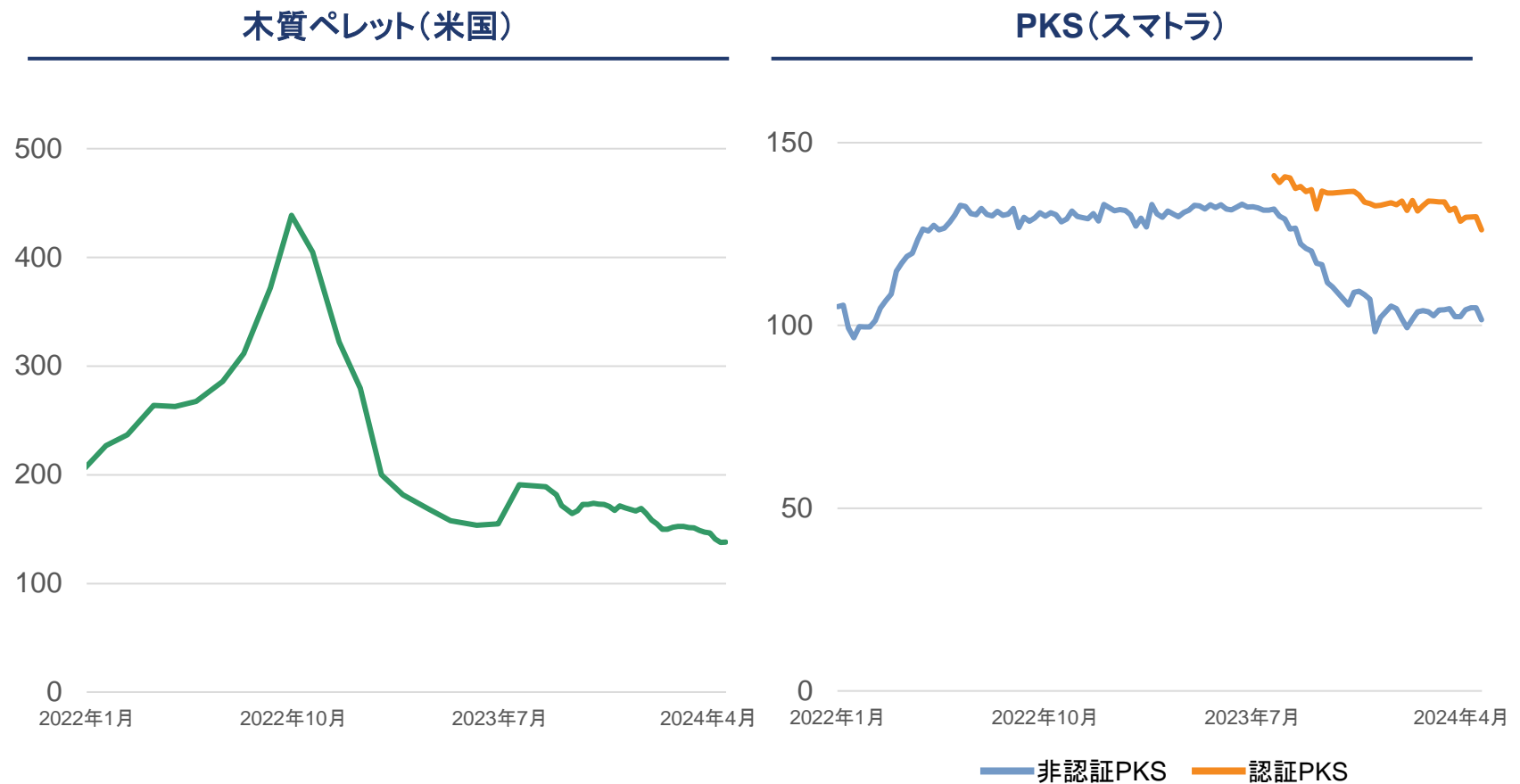
## (ご参考) 運転中の連結子会社(発電事業SPC)の単体決算の状況 (IFRS/単位: 百万円)

	設備容量 (MW)	買取価格 (/kWh)		売上収益	EBITDA	EBITDA	当期利益	弊社
						マージン		持分比率
秋田バイオマス	20.5	32円 /24円	2024年3月期	4,552	1,080	23.7%	303	35.3%
			2023年3月期	4,359	1,034	23.7%	255	35.3%
荏田バイオマス	75.0	24円 /32円	2024年3月期	13,474	4,204	31.2%	716	53.1%
			2023年3月期	13,745	4,904	35.7%	1,155	53.1%
仙台蒲生バイオマス	75.0	24円 /32円	2024年3月期	4,720	430	9.1%	▲668	60.0%
			2023年3月期	-	-	-	-	29.0%
徳島津田バイオマス*1	74.8	24円 /32円	2024年3月期	7,303	3,686	50.5%	2,455	70.4%
			2023年3月期	-	-	-	-	70.4%

\*1 持分比率は、配当比率を記載

# (ご参考) スポット燃料市場価格の参考値の推移\*1

(単位:USD/t)



\*1 Argus Biomass Marketsより。木質ペレット(米国)は“Wood pellets export price USA southeast fob” PKS(スマトラ)は、“Palm kernel shell (PKS) Index east coast Sumatra fob”のデータをそれぞれ引用。本データの無断転載、無断使用は固く禁じます。

---

## Ⅱ. 2025年3月期業績予想(IFRS)



# 2025年3月期連結業績予想(IFRS)

(単位: 百万円 / %)

- 売上収益は、前期に運転を開始したバイオマス発電所の通年寄与及び御前崎港バイオマスの運転開始を見込む
- 御前崎港バイオマス及び唐津バイオマスの連結化により「企業結合に伴う再測定による利益」の計上を見込む

	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	変化率
売上収益	44,748	71,800	60.5%
EBITDA <sup>*1</sup>	16,712	20,800	24.5%
EBITDA マージン	37.3%	29.0%	-
営業利益	5,017	1,000	▲80.1%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	8,857	5,900	▲33.4%
EPS(円) <sup>*2</sup>	112.32	65.31	-
ROE <sup>*3</sup>	16.0%	7.0%	-
設備容量(MW) <sup>*4</sup>	852.3	1,187.2	

- 前期に運転開始したバイオマス(仙台蒲生、石巻ひばり野)の通年寄与
- 御前崎港バイオマスの運転開始
- 事業開発報酬の計上を見込む
- 御前崎港バイオマス及び唐津バイオマスの連結化に伴う「企業結合に伴う再測定による利益」の計上を見込む

<sup>\*1</sup> EBITDA=売上収益-燃料費-外注費-人件費+持分法による投資損益+その他の収益・費用、EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外 <sup>\*2</sup> 2025年3月期(業績予想)のEPSは、2024年3月期末における発行済株式総数を期中平均株式数と仮定して算出 <sup>\*3</sup> ROEにおける親会社の所有者に帰属する持分は連結会計年度の期首と期末の単純平均値を使用 <sup>\*4</sup> 設備容量は弊社持分比率を考慮しないグロス値で表示

# 再生可能エネルギー発電セグメントの業績予想(IFRS)

(単位: 百万円)

- 太陽光発電事業は、人吉ソーラーが通年寄与
- バイオマス発電事業は、売上収益は仙台蒲生バイオマス、石巻ひばり野バイオマスの通年寄与、及び御前崎港バイオマスの運転開始を見込む
  - 徳島津田バイオマスは、4月に実施した点検結果を踏まえた7月までの補修作業、及び11月から2025年2月まで定期点検を実施予定
  - スポット調達の燃料価格前提: 木質ペレット190ドル/t、認証PKS、180ドル/t

		2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	増減
大規模太陽光	売上収益	14,219	14,200	▲19
	EBITDA*1	11,750	11,400	▲350
	営業利益	5,533	5,500	▲33
バイオマス	売上収益	30,049	54,600	24,551
	EBITDA*1	10,441	11,700	1,259
	営業利益	5,116	▲1,500	▲6,616
その他	売上収益	63	600	537
	EBITDA*1	38	700	662
	営業利益	14	300	286
合計	売上収益	44,331	69,400	25,069
	EBITDA*1	22,228	23,800	1,572
	営業利益	10,663	4,300	▲6,363

\*1 EBITDA=売上収益-燃料費-外注費-人件費+持分法による投資損益+その他の収益・費用、EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外

# 2025年3月期セグメント別業績予想(IFRS)

(単位: 百万円)

- 再生可能エネルギー発電事業は、売上収益及びEBITDAの増加を見込む。一方で、燃料価格の高騰及び徳島津田バイオマスにおける長期の点検・補修の影響により営業利益は減少の見込み
- 再生可能エネルギー開発・運営事業は、事業開発報酬の計上、及び前年実績並みの開発費用を見込む

		2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	差分
再生可能エネルギー発電事業(A)	売上収益	44,331	69,400	25,069
	EBITDA <sup>*2</sup>	22,228	23,800	1,572
	営業利益	10,663	4,300	▲6,363
再生可能エネルギー開発・運営事業(B) <sup>*1</sup>	売上収益	2,994	6,300	3,306
	EBITDA <sup>*2*3</sup>	▲1,777	1,200	2,977
	営業利益	▲2,192	800	2,992
連結消去(C)	売上収益	▲2,578	▲3,900	▲1,322
	EBITDA <sup>*2</sup>	▲3,740	▲4,200	▲460
	営業利益	▲3,454	▲4,100	▲646
合計 (A) + (B) <sup>*1</sup> + (C)	売上収益	44,748	71,800	27,052
	EBITDA <sup>*2</sup>	16,712	20,800	4,088
	営業利益	5,017	1,000	▲4,017

\*1 子会社や関連会社に対する弊社の持分に相当する事業開発報酬等については、連結決算上は連結グループ内取引として連結消去

\*2 EBITDA=売上収益-燃料費-外注費-人件費+持分法による投資損益+その他の収益・費用。EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外

\*3 再生可能エネルギー開発・運営事業セグメントのEBITDAの金額は、受取配当金を含めた金額であり、決算短信に記載しているセグメント注記の金額と異なる

# 2025年3月期連結業績予想の主な前提条件

	2024年3月期(実績)	2025年3月期(予想)
発電事業 セグメント	<p>【連結】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 太陽光12ヶ所／352.8MW               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 太陽光の一部は需給調整／工事・点検のための出力制御に伴う影響を考慮</li> </ul> </li> <li>■ Non-FIT PPA(太陽光)／計11.6MW</li> <li>■ バイオマス4ヶ所／320.3MW               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 徳島津田の試運転期間の売電収入</li> <li>- 完工遅延損害賠償金の計上</li> <li>- 計画外停止リスクバッファを考慮</li> </ul> </li> </ul> <p>【持分法による投資損益】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 陸上風力1ヶ所／144.0MW／クアンチ風力</li> <li>■ バイオマスの試運転期間の売電収入</li> <li>■ 地熱1ヶ所／2.0MW／南阿蘇湯の谷地熱</li> </ul>	<p>【連結】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 太陽光12ヶ所／352.8MW               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 太陽光の一部は需給調整／工事・点検のための出力制御に伴う影響を考慮</li> </ul> </li> <li>■ Non-FIT PPA(太陽光)／計約74MW</li> <li>■ バイオマス6ヶ所／445.2MW               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 徳島津田は、4月に実施した半年点検に基づき、7月まで補修作業を実施。また、11月から2025年2月まで点検を実施予定</li> <li>- 御前崎港は2024年7月運転開始、ただし連結予定時期は2024年11月を見込む</li> <li>- 唐津は2024年12月運転開始、ただし連結予定時期は2025年3月末を見込む</li> <li>- 燃料費は燃料価格の高騰影響を考慮</li> </ul> </li> </ul> <p>【持分法による投資損益】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 陸上風力1ヶ所／144.0MW／クアンチ風力</li> <li>■ バイオマスの試運転期間の売電収入</li> <li>■ 地熱1ヶ所／2.0MW／南阿蘇湯の谷地熱</li> </ul>
	開発・ 運営事業 セグメント	<p>【事業開発報酬】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 計上を見込まない</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開発費は期初計画に対して、一部未消化</li> </ul>

\*1 事業開発報酬は、連結消去後の数値を記載

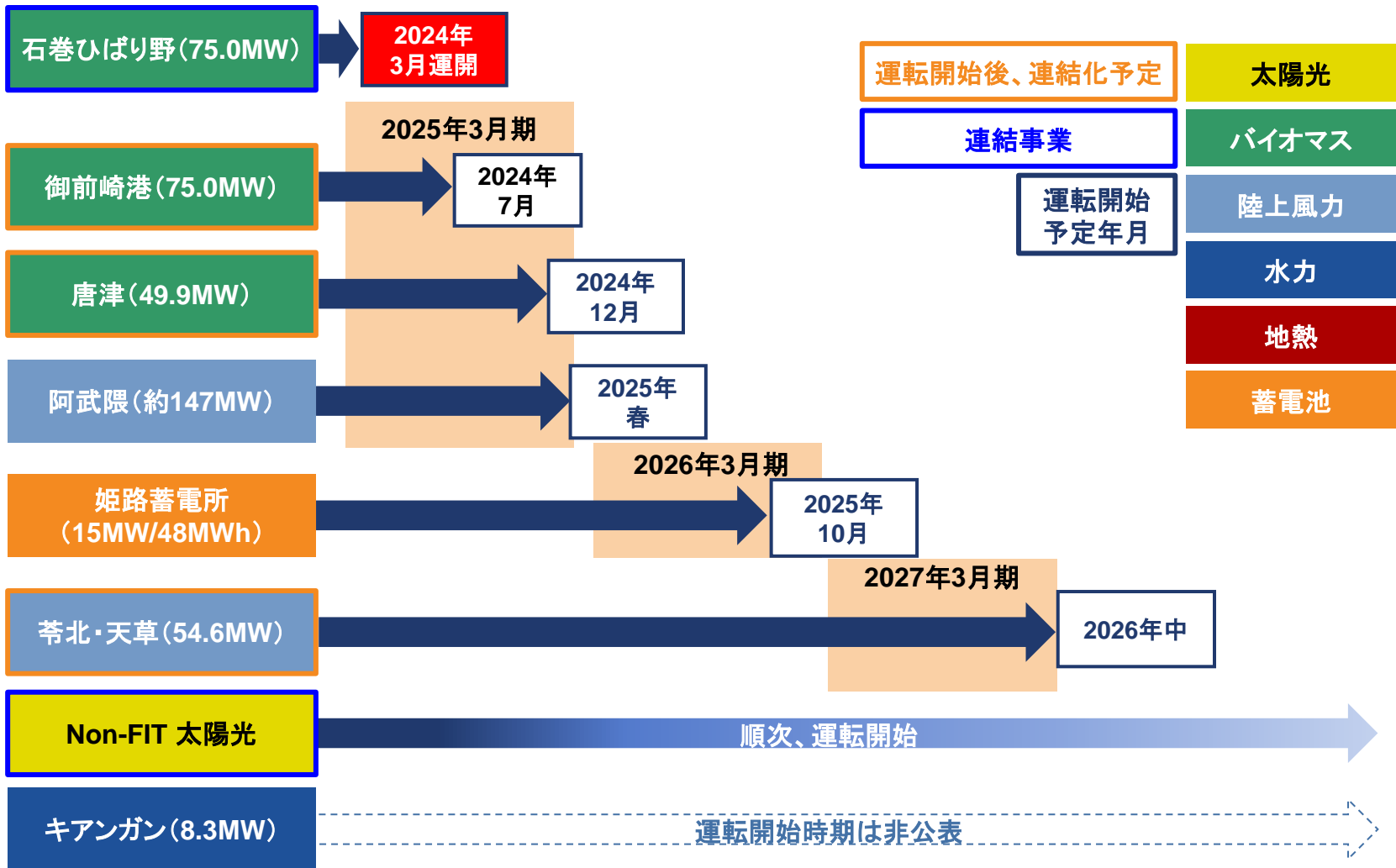
---

### Ⅲ. 事業開発状況のアップデート

# 建設中事業の運転開始スケジュール<sup>\*1\*2</sup>

2024年5月現在

## ■ 運転開始に向けて、工程を進める



\*1 建設中の事業の運転開始の年月は、現状における予定であり、変更、遅延となる可能性がある。EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記

\*2 2021年8月に着工したキアンガン水力(8.3MW)の運転開始時期は非公表

# 建設中事業の進捗\*1

2024年5月現在

- 御前崎港バイオマスは、長期安定稼働に向けて試運転中
- 唐津バイオマスは、試運転の開始に向けた準備が進捗
- 苓北・天草風力は、基礎工事が進捗

**御前崎港バイオマス**  
(75.0MW、静岡県御前崎市他)



全景／試運転中  
(2024年4月)

**2024年7月運転開始(予定)\*2**

**唐津バイオマス**  
(49.9MW、佐賀県唐津市)



ボイラ建屋  
(2024年4月)

**2024年12月運転開始(予定)\*2**

**苓北・天草風力**  
(54.6MW、熊本県天草郡苓北町)



鉄塔の組立工事  
(2024年4月)

**2026年中運転開始(予定)\*2**

**姫路蓄電所**  
(15MW/48MWh、兵庫県姫路市)



連携変電設備  
の杭打ち  
(2024年4月)

**2025年10月事業開始(予定)\*2**

**Non-FIT太陽光**



発電所  
(2024年4月)

**順次運転開始**

**キアンガン水力**  
(8.3MW、フィリピンイフガオ州)



発電所建屋の  
建設  
(2024年4月)

**建設中\*2**

\*1 EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記

\*2 現状の計画値であり、変動する可能性がある

---

#### IV.【添付資料】その他会社情報



# 電源の保有及び開発状況(1/5)

## (2024年5月現在)

### ■ 安定稼働の維持に取り組む

電源	事業名 略称	所在地	設備容量 (MW)	買取価格 (/kWh) <sup>*1</sup>	現況	出資比率	運転開始年	FIT終了年
太陽光	水郷潮来	茨城県	15.3	40円	運転中	68.0%	2014年	2034年
	富津	千葉県	40.4	40円	運転中	51.0%	2014年	2034年
	菊川石山	静岡県	9.4	40円	運転中	63.0%	2015年	2035年
	菊川堀之内谷	静岡県	7.5	40円	運転中	61.0%	2015年	2035年
	九重	大分県	25.4	40円	運転中	100%	2015年	2035年
	那須塩原	栃木県	26.2	40円	運転中	100%	2015年	2035年
	大津町	熊本県	19.0	36円	運転中	100%	2016年	2036年
	四日市	三重県	21.6	36円	運転中	20%	2019年	2039年
	那須烏山	栃木県	19.2	36円	運転中	100%	2019年	2039年
	軽米西	岩手県	48.0	36円	運転中	100%	2019年	2039年
	軽米東	岩手県	80.8	36円	運転中	100%	2019年	2039年
	軽米尊坊	岩手県	40.8	36円	運転中	55.0%	2021年	2041年
人吉	熊本県	20.8	36円	運転中	100%	2023年	2042年 <sup>*2</sup>	

\*1 買取価格は、売電先との実際の契約価格ではなく、各発電設備に対してFIT法に基づき適用されている固定買取価格(消費税抜表示)

\*2 2016年8月1日以降に接続契約を締結しており、認定から3年間の運転開始期限が設けられているため、固定価格買取制度の下での売電期間は18年9ヶ月となる見通し

# 電源の保有及び開発状況(2/5)

## 現在公表可能な事業リスト\*1(2024年5月現在)

- 各PPAに基づく売電開始に向けて、多数の小型分散型太陽光発電所の開発に取り組む
- 2025年3月期は、計63MWの運転開始を見込む

電源	オフテイク	PPA締結日	形態	最大契約設備容量(MW)	価格	現況	出資比率	運転開始年(目標)	備考
Non-FIT 太陽光	東京ガス	2022年8月	フィジカル	約13	固定	順次運転開始	100%	2024年3月までに順次	-
	EGM*2	2023年1月	フィジカル	約9	固定	順次運転開始	100%	2026年3月までに順次	-
	村田製作所	2023年5月	バーチャル*3	約115	固定	順次運転開始	100%	2023年中から順次	電力は卸電力取引所に売電
	鈴与商事	2023年6月	フィジカル	約2	固定	推進中	100%	2025年3月までに順次	-
	大塚商会	2023年8月 2024年2月	バーチャル*3	約12 約10	固定	推進中	100%	2026年3月 2028年3月 までに順次	電力は卸電力取引所に売電
	東邦ガス	2023年12月	フィジカル	約10	固定	推進中	100%	2026年9月までに順次	-

\*1 開発中の事業は、開発状況や進捗及び環境影響評価を踏まえた意見等に鑑み、変更、遅延又は中止となる可能性がある。EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記。建設中の事業における運転開始年は変更する可能性がある \*2 エバーグリーン・マーケティング

\*3 太陽光発電所において発電した電力由来の環境価値を非FIT非化石証書として直接販売する環境価値売買契約

# 電源の保有及び開発状況 (3/5)

## 現在公表可能な事業リスト\*1 (2024年5月現在)

### ■ 石巻ひばり野バイオマス発電所が営業運転を開始

電源	事業名 略称	所在地	設備容量 (MW)	買取価格 (/kWh)*2	現況	出資比率	運転開始年 (目標)*3	FIT 終了年
バイオマス	秋田 (URE)	秋田県	20.5	FIP移行	運転中	35.3%*4	2016年	-*5
	苅田	福岡県	75.0	24円/32円	運転中	53.1%	2021年	2041年
	仙台蒲生	宮城県	75.0	24円/32円	運転中	60.0%	2023年	2043年
	徳島津田	徳島県	74.8	24円/32円	運転中	70.4%*6	2023年	2043年
	石巻ひばり野	宮城県	75.0	24円/32円	運転中	62.93%*7	2024年3月	2043年頃
	御前崎港	静岡県	75.0	24円/32円	試運転中	57.0%*8*9	(2024年7月)	(2044年頃)
	唐津	佐賀県	49.9	24円	建設中	35.0%*10	(2024年12月)	(2044年頃)

\*1 開発中の事業は、開発状況や進捗及び環境影響評価を踏まえた意見等に鑑み、変更、遅延又は中止となる可能性がある。EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記

\*2 買取価格は、売電先との実際の契約価格ではなく、各発電設備に対してFIT法に基づき適用されている固定買取価格(消費税抜表示)

\*3 開発中及び建設中の事業における運転開始年は変更する可能性がある

\*4 弊社はURE(ユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社)に対して、弊社子会社である千秋ホールディングス㈱(以下、千秋HD)を通じて出資しており、弊社によるUREの実質持分(千秋HDが保有するUREの株式に対して、弊社が保有する千秋HDの持株比率を乗じ、弊社が直接保有するとみなして算出したURE持株比率)は35.3%

\*5 契約期間は発電所が有していたFIT認証の残存期間と同じ2036年まで

\*6 ここでは配当比率を記載。出資比率は60.8%

\*7 ここでは配当比率を記載。出資比率は51.0%

\*8 ここでは配当比率を記載。出資比率は38.0%

\*9 発電所の完成日以降に、共同スポンサーの一部が保有する特別目的会社出資持分(出資比率: 18.0%、配当比率: 18.0%)を買い増す権利を有す。当該権利を行使した場合、弊社に帰属する事業からの配当比率は75.0%(但し、弊社の出資比率は 56.0%)

\*10 発電所の完成日以降に、共同スポンサーの一部が保有する特別目的会社出資持分(出資比率: 16.0%)を買い増す権利を有す。当該権利を行使した場合、弊社の出資比率は 51.0%

# 電源の保有及び開発状況(4/5)

## 現在公表可能な事業リスト\*1(2024年5月現在)

- 苓北・天草風力は、伐採・防災工事及び自営線用の鉄塔組み立て等の基礎工事が進捗
- 陸上風力は、複数の事業候補地において風況観測等の開発を進める

電源	事業名 略称	所在地	設備容量 (MW)	買取価格 (/kWh) <sup>*2</sup>	現況	出資 比率	環境影響 評価の 進捗	運転 開始年 (目標) <sup>*3</sup>	FIT 終了年
洋上風力	いすみ <sup>*4</sup>	千葉県	約[350-450]	未定	先行投資 (公募対象事業 <sup>*5</sup> )	-	配慮書 完了	未定	-
	唐津 <sup>*4</sup>	佐賀県	調査中	未定	先行投資 (公募対象事業 <sup>*5</sup> )	-	配慮書 完了	未定	-
陸上風力	阿武隈 <sup>*6</sup>	福島県	約147	22円	建設中	10% 未満	完了	(2025年春)	(2045年頃)
	苓北・天草	熊本県	54.6	21円	建設中	38% <sup>*7</sup>	完了	(2026年中)	(2046年頃)
	クアンチ <sup>*6</sup>	ベトナム	144.0	8.5セント	運転中	40.0%	-	2021年	2041年

\*1 開発中の事業は、開発状況や進捗及び環境影響評価を踏まえた意見等に鑑み、変更、遅延又は中止となる可能性がある。EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記

\*2 買取価格は、売電先との実際の契約価格ではなく、各発電設備に対してFIT法に基づき適用されている固定買取価格(消費税抜表示)

\*3 開発中の事業における運転開始年は変更する可能性がある

\*4 規模・運転開始年は、見通しが立った段階で開示予定

\*5 海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律(2018年12月7日公布)における公募

\*6 他社が主導するマイノリティ投資

\*7 発電所の完成日以降に、共同スポンサーの一部が保有する特別目的会社出資持分及び株主ローン債権(計52.0%)を買い増す権利を有す。当該権利を行使した場合、弊社の出資比率は90.0%

# 電源の保有及び開発状況 (5/5)

## 現在公表可能な事業リスト\*1 (2024年5月現在)

- 函館恵山地熱は、2023年7月に実施した噴気試験の結果を基に、事業の詳細設計を進める

電源	事業名 略称	所在地	設備容量 (MW)	買取価格 (/kWh)*2	現況	出資 比率	環境影響 評価の 進捗	運転開始年 (目標)*3	FIT 終了年
地熱	南阿蘇 湯の谷*4	熊本県	2.0	40円	運転中	30.0%	-	2023年3月	2038年
	函館恵山	北海道	未定	未定	先行投資	-	方法書 の完了	未定	-
水力	キアンガン*4	フィリピン	8.3*5	5.87 PHP*6	建設中	40.0%	-	非公表	-

\*1 開発中の事業は、開発状況や進捗及び環境影響評価を踏まえた意見等に鑑み、変更、遅延又は中止となる可能性がある。EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記

\*2 買取価格は、売電先との実際の契約価格ではなく、各発電設備に対してFIT法に基づき適用されている固定買取価格(消費税抜表示)

\*3 開発中の事業における運転開始年は変更する可能性がある

\*4 他社が開発を主導するマイノリティ投資

\*5 許認可ベースでの設備容量

\*6 小水力発電に関する FIT 対象枠の残存期間中に運転開始した場合の想定 FIT 単価

# 蓄電池事業の保有及び開発状況

## 現在公表可能な事業リスト\*1(2024年5月現在)

- 姫路蓄電所は、蓄電池の設置は完了。系統工事完了後に運転開始予定
- 開発中の複数の蓄電池事業が長期脱炭素オークションにおいて選定され、最終投資意思決定(FID)に向けた準備が進捗

事業名 略称	所在地	蓄電システム 出力 (MW)	蓄電容量 (MWh)	現況	出資 比率	運転開始年 (目標)*2
姫路蓄電所*3	兵庫県	15.0	48.0	建設中	22.0%	(2025年10月)
苫小牧*4	北海道	90.0	非公表	推進中	マジョリティ	非公表
白老*4	北海道	50.0	非公表	推進中	マジョリティ	非公表
森町睦実*4	静岡県	75.0	非公表	推進中	マジョリティ	非公表

\*1 開発中の事業は、開発状況や進捗及び環境影響評価を踏まえた意見等に鑑み、変更、遅延又は中止となる可能性がある。EPC契約書上で工事の着手日を迎えた事業については、着工済み及び建設中フェーズとして表記

\*2 開発中の事業における運転開始年は変更する可能性がある

\*3 他社が開発を主導するマイノリティ投資

\*4 電力広域的運営推進機関公表の約定結果(2024年4月26日)記載の落札容量は応札した設備容量に対し、エリア・電源種に応じた調整係数を乗じた数値となっています。各設備容量とは数字が異なりますが、応札した設備容量全量に対して本制度が適用される見込み

# 会社概要

2024年3月31日時点

## 会社情報

社名	株式会社レノバ
本店所在地	東京都中央区京橋二丁目2番1号
代表者	代表取締役社長CEO 木南 陽介
設立	2000年5月
資本金	2,405百万円
証券取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	9519
事業内容	再生可能エネルギー事業
従業員数(連結)	287名

## コーポレート・ガバナンス

取締役会	取締役8名のうち社外取締役4名
監査役会	監査役4名のうち社外監査役3名

## 株式の状況

発行可能株式総数	280,800,000株
発行済株式総数	79,275,400株
株主数	30,526名

## 主な沿革

2000年5月	(株)リサイクルワン(現レノバ)を設立
2012年10月	再生可能エネルギー事業に参入
2014年2月	水郷潮来ソーラーが発電を開始
2014年7月	富津ソーラーが発電を開始
2015年2月	菊川石山及び菊川堀之内谷ソーラーが発電を開始
2015年5月	九重ソーラーが発電を開始
2015年9月	那須塩原ソーラーが発電を開始
2016年4月	大津町ソーラーが発電を開始
2017年2月	東京証券取引所マザーズ市場に株式上場
2019年5月	那須烏山ソーラーが発電を開始
2019年7月	軽米西ソーラーが発電を開始
2019年12月	軽米東ソーラーが発電を開始
2021年6月	苅田バイオマスが発電を開始
2021年10月	軽米尊坊ソーラー、クアンチ風力が発電を開始
2023年6月	人吉ソーラーが発電を開始
2023年11月	仙台蒲生バイオマスが発電を開始
2023年12月	徳島津田バイオマスが発電を開始
2024年3月	石巻ひばり野バイオマスが発電を開始